

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12037

公民館管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		公民館費	
	大事業		公民館事業	
	中事業		公民館管理事業	

事業種別	継続		関連個別計画	生涯学習基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	中央公民館	加藤 裕晃 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課	生涯学習課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	各公民館の諸事業を円滑に実施する。		公民館運営の全般にわたる企画調整及び連絡調整を行う。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援	中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援	中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援	中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援	中央公民館の管理運営 各地区公民館の運営支援

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	1,918	1,814	1,977	1,787	1,878	1,786	1,829	0	1,829	0	
伸び率(%)	△16.6%	△19.4%	3.1%	△1.5%	△5%	△0.1%	△2.6%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,034	1,034	1,037	1,117	1,279	1,359	1,439	0	1,439	0
	正規職員以外	215	322	600	500	1,340	1,790	1,044	0	1,044	0
	小計	1,249	1,356	1,637	1,617	2,619	3,149	2,483	0	2,483	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	
一般財源(税等)	1,918	1,814	1,977	1,787	1,878	1,786	1,822	0	1,822	0	
所要人数(人)	正規職員	0.13	0.13	0.13	0.14	0.16	0.17	0.18	0.00	0.18	0.00
	正規職員以外	0.08	0.12	0.24	0.20	0.54	0.54	0.43	0.00	0.43	0.00
主な予算内訳	報酬 3,548千円、庁用器具費 420千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
館長数		人	目標値	43	43	43	43	43
			実績値	43	43	43		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
審議会委員数		人	目標値	12	12	10	10	10
			実績値	12	12	10		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
審議会開催数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公民館事業を円滑に実施できているため、現状維持が妥当である。
見直し・改善内容	公民館活動をさらに市民のニーズに合ったものにするため、公民館運営審議会等において広く意見を集め、事業をより実りのあるものにしていく。